

第18回世界半導体会議（WSC）の開催および結果について

半導体分野では通商、環境、知的財産権等の国際的課題に関し、半導体業界として共通に対処するための国際協議・調整のスキームが確立されています。2月のJSTC会合、5月のWSC/JSTC会合、10月のGAMS/JSTC会合^(*1~3)があり、日本、米国、欧州、韓国、チャイニーズタイペイおよび中国の世界6極が定期的に一堂に会し種々の問題解決にあたるように運営されています。JSTC会合、WSC/JSTC会合での議論を通して、業界としての共通課題を認識し、政府に要望すべき項目を声明という形で纏めて、GAMS/JSTC会合で6極の政府に検討していただくこととなります。検討結果のフィードバックを受け、さらに必要な場合は民間で検討を重ねます。これは半導体業界特有なもので他に類をみないユニークかつ有効

な仕組みとなっています。

本年5月には中華民国・台北にてWSC/JSTC会合が開催されましたので、そこでの活動をご紹介します。(JSTC 関連会合5月20、21、23日、WSC 会合5月22日)

今回の主催国はチャイニーズタイペイであり、WSC会合の議長はチャイニーズタイペイ半導体工業会を代表してEtron社CEO兼チェアマンNicky Lu氏が務めました。日本からは、JEITA半導体部会・部会長である株式会社東芝 常任顧問 齋藤昇三氏をはじめ、ルネサスエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長兼 COO 鶴丸哲哉氏、富士通セミコンダクター株式会社執行役員副社長 八木春良氏の3名が参加しました。

1. 新しい半導体製品（MCO）^(*4)の普及・促進

半導体製品は、絶え間ない技術革新により、新しい機能を集積した新製品を次々と生み出し、その範囲を拡大しています。WSCは過去7年に渡り、この新製品「MCO（マルチ・コンポーネントIC）」を広く普及させるため、無関税化に向けた取り組みを行ってきました。現在中断している情報技術協定（Information Technology Agreement、

以下ITA）の拡大交渉のなかで議論されています。

今回のWSCでは、ITA拡大交渉の再開に向け、5月17、18日に中国 青島で行われたAPEC貿易大臣会合の結果の情報共有、さらには11月のAPEC首脳会議に向けた産業界からのレター送付などの具体的な働きかけについて合意しました。

2. 環境対策

化学物質規制についてはナノマテリアルの懸念が示されていますが、今回の会議においては半導体工業会のみで解決できる課題ではなく、政府当局に対して化学物質

のリスクを解明するための研究体制への支援について要望の提案が合意されました。

3. 成長イニシアティブ

今回、半導体産業の成長側面（自動車分野、エネルギー分野、健康分野）に焦点をあて、今後の成長の促

進につながるような課題について活発な議論を繰り広げました。今後も議論を継続的に行っていきます。

4. 知的財産権の保護

実用新案は、各国でさまざまな法制度のもとで審査や権利化対象、特許性、権利主張などについて異なる運用がなされていますが、WSCは、各国実用新案法について国際的調和を求める提言をまとめました。また、営業

秘密の効果的な保護について、貿易協定や国内法の整備を通して実現するよう要望をまとめました。パテントトロールと呼ばれている一部企業が特許権の法的な乱用（特許訴訟など）を行っていますが、これらの特許権

の法的乱用の規制についても、WSC は特許訴訟手続きの改善や悪意ある要求書の抑制などの提案をまとめまし

た。更に特許の質について、WSC は世界知的所有権機関（WIPO）と協力を進めております。

5. 暗号認証

本年10月、GAMS/JSTC 会合（福岡）で併催される暗号認証セミナーのアジェンダについて議論しました。

このセミナーにおいては6極の関係者が一堂に会して議論する計画であり、強い期待をもって進めています。

6. 税関課題

半導体の円滑な貿易を達成すべく、WTO での貿易円滑化協定の締結が実現する様、求めていくことを確認しました。

今後、新しいタイプの半導体も視野に入れ、将来の関税分類の見直しも念頭に置いて検討を進めることに合意しました。

7. 半導体製品の模倣品対策

WSC はこれまで、半導体模倣品に対して、その危険性を広く知らせるよう取り組んできました。今年は、WSC の反模倣品活動を白書にまとめて国際機関へ提示し協力

提案などを行っています。また、日本が主体となり反模倣品ポスターを作成し、各国（日本、米国、欧州、韓国、中国、チャイニーズ台北）の展示会やセミナーで掲示しました。

8. マーケット

半導体市場は2013年3060億ドルの売り上げとなり、初めて3000億ドルを超えました。

2013年は通信、自動車の分野で市場が伸びていることが確認しました。また、地域としてはアジア、太平洋の地域が伸びていることを確認しました。

以上に加えて WSC は、輸出入規制、貿易円滑化、紛争鉱物、OECD BEPS など、世界的な貿易を前提としている半導体産業の成長を阻害する可能性のある種々の規則の動向に大きな関心を持っています。

WSC は、関税障壁の撤廃、自由貿易の促進が半導体産業に多大な影響があることを認識しており、ITA の推進について、各国政府及び世界貿易機関（WTO：World Trade Organization）へ働きかけています。

WSC では、今回の結果として共同声明（英文）を採択し、追って、Web サイトに掲載します。

(<http://www.semiconductorcouncil.org/wsc/>)

次回は、2015年5月に中華人民共和国にて開催予定です。

(参考)

■ WSC：1996年8月の日米半導体協定の終結を受けて、既にグローバル化していた半導体のビジネスを反映して、多極の場で世界の半導体業界の共通問題について協議することが必要との認識に基づき、日米業界で WSC の設立に合

意、1997年4月に日米欧韓の半導体業界が参加して WSC の最初のミーティングをハワイで開催、今回で18回目となる。WSC の Web サイト：

<http://www.semiconductorcouncil.org/wsc/>

(*1) JSTC (Joint Steering Committee)：企業委員会による実務レベル会合

(*2) WSC (World Semiconductor Council)：半導体企業トップレベル会合。JSTC 提案を審議・承認し且つ必要に応じて各国政府レベルに業界要望を掲げる。

(*3) GAMS (Government/Authorities Meeting on Semiconductors)：政府レベル協議で WSC 要望を審議決定する。

(*4) MCO (マルチコンポーネント IC)：技術の発展に伴い、モノリシック IC と共に能動素子、受動素子、その他の部品が同一パッケージ内に同梱された新型半導体のこと。